

野党と市民の共闘強め 次期選挙で必ず勝利を



発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「J C P上伊那」

藤野さん当選！ 曾我さん大健闘

先の総選挙は選挙直前に、民進党が希望の党へ合流し、逆流が生まれた中、長野5区では市民と野党が共闘し曾我逸郎さんを擁立し闘いました。

「安倍暴走政治・自民党と希望の党に正面から立ちはだかる」として断固としてたたかいた曾我さんは4万8588票を獲得、大健闘しました。

比例代表選挙の北陸・信越ブロックでは、平和や消費税増税反対などを訴えた日本共産党の、藤野保史さんが再選を勝ちとることができ

きました。

くらし・平和に力合わせて 藤野やすふみ

総選挙で日本共産党と書いていただいた26万7777人の方々に心からお礼申し上げます。

北陸信越ブロックで1議席を確保したことは、憲法9条改悪は許さない、原発の再稼働はダメだという民意の表れです。

国民のくらしや平和を守るとともに新しい国会で市民と野党の共



衆院選で野党統一候補と日本共産党に、ご支持いただいた皆さまに心からお礼申し上げます。

日本共産党伊那市委員会

5区の得票結果

- 曾我逸郎 4万8588票
- 宮下一郎 9万1542票
- 中島康介 4万3425票



何卒、引き続きの尽力をよろしくお願い申し上げます。



支持者のみなさんと当選を喜び合う
藤野議員（中央で花束を持っています）

闘をさらに前に進めるために全力を尽くします。

強力な体勢作りを 曾我 逸郎

今回の選挙戦では多くの方々から一方ならぬご支援を賜り、本当に有難うございました。今回の取り組みの経験とつながりを活かして、市民の側の強力な体勢をつくること

地 蜂

秋たけなわというのに、台風21号と22号が相次いで日本列島を襲いました。幸い、この地域に大きな被害はなかったものの、一〇月は雨の日が多

多くうんざりでした。それでも、今年も紅葉は着実に進んでいます▼周辺の山々は、赤や黄色、そして緑と多彩な色合いで鮮やかなグラデーション模様を示し、人々の目を楽しませてくれます。百人一首で「もみじの錦神のまにまに」と詠われたとおりです▼赤や緑といえは「赤いキツネと緑のタヌキ」というコミーシャルがあります。希望の党を立ち上げた東京都知事は、総選挙を通して「改革の旗頭」のイメージの化けの皮がはがれて「緑のため」と揶揄されました▼この党の最大の役割は、市民と野党の共闘の分断だったことは結果を見れば明らかです。長野5区では、昨年の参院選で杉尾秀哉さんを当選させた市民と野党の共闘体制から、「緑のタヌキ」に化かされた民進党の関係が脱落していきました。しかし、曾我逸郎さんの決意によって共闘は維持され、衆院選が全力を挙げて闘われまし

た▼選挙の結果は、残念ながら当選には至らず、共産党も議席を減らすことになりましたが、立憲民主党など、市民と野党の共闘による候補は多くの議席を確保することができました。紆余曲折はあっても、共同の闘いは今後一層、発展していくことでしょう。平和憲法を守る闘いは、これからのいよいよ正念場を迎えます。(M・W)

改憲・戦争阻止へ行動続く

「満蒙開拓 青少年義勇軍」

第8回シンポジウム

戦時中に旧満州（中国東北部）へ8万6千人もの少年が送られ、多くの犠牲を出した「満蒙開拓青少年義勇軍」の第8回シンポジウム（実行委員会主催）が10月14日（土）なつせで開かれ、100名余が参加しました。



出発する青少年義勇軍

主催者から、東春近小学校における義勇軍の送別の実態について、小学校沿革史と当時の写真などの資料をもとに報告があり、義勇軍に参加した伊澤厳さん（故人）から、生前に聞き取り調査した内容から「志願の動機と戦後の思い」

「戦争体験を語る」集い25人が聞き入る

富県9条の会

富県九条の会は10月14日午後、北福地集落センターで東春近在住の内田かつ子さんを招き「戦争を語る会」を行いました。

内田さんからは「国の政策の下で1944年4月に家族10人

で満州に渡り、敗戦を経て46年10月に子ども3人だけで帰国するまでの自身の苦難の戦争体験が生々しく語られ、同時に安倍首相が安保法制や共謀罪法を強行し戦争への道を暴走している

などが紹介されました。また当時の上伊那教育会が、学校などを国策に協力させていくための教員の人事配置の実態と、義勇軍を送り出した教師たちが、送りの時代をどのように生き、戦後どのように歩んだかについて言及した、今までにはない研究発表がありました。

最後に駒ヶ根市在住の水田克己さん（87）から、義勇軍での悲惨な体験談が語られ、義勇軍への理解を深めるよい機会になったと思います。（戸田義美）

「守ろう・憲法9条」の呼びかけ

一般新聞に折り込む

高遠9条の会

町民への呼びかけ文は「戦後72年。戦争をしない国として世界から認められた日本。平和憲法9条の存在が国民を守って来ました。今、憲法を守らなければ将来に向

けて大変な事になります。高遠9条の会では、憲法を守る活動をしています。多くの方々から意見を寄せて頂きました。」と12人の町民からの平和の尊さや平和憲法の大切さの訴えをB4版裏表に掲載。10月9日の一般新聞に2千枚を折り込み、多くの世帯に届けました。



「継続は力なり」10月19日朝、竜東橋北交差点で、雨が降っても市民のみなさんに訴え続けています

フクシマの山河いとし

ふるさとに原発があった

原発事故から6年余、日頃フクシマに想いを寄せる時が極めて少

ことにもふれ、「二度と戦争をさせてはならない」と強調しました。

参加者からは、「貴重な体験を知ることができた」「若い人たちに大いに話していきたい」「戦争は絶対してはいけない」などの感想が寄せられました。

なくなつて、こんなことではまずい、何かしなければと焦り気味の中で企画されたのが「青田勝彦・恵子夫妻による布絵と講演会」（10・21於…ロジック吹上）です。

事故後、滋賀県大津市に避難を強いられるから噴出するように作り出された恵子さんの布絵。絵の具や色紙のように古布を用いた53枚の絵。悲しみ・くやしき・怒り・望郷・生きとし生けるものへの限りない愛・あらゆる感情が伝わります。添えられた福島弁の行間から南相馬が視えてくるようでした。

勝彦さんの講演は決してミニではありませんでした。原発訴訟原告団の一員である事故被災当事者として大津に避難するまでの日々を地図（汚染マップ）を示しながら判り易く話して下さり、少し福島に近くなれたと思えました。（西箕輪・倉田節子）

総選挙に思う

○野党と市民が一本化できていれば、宮下一郎に勝つたのに、残念です。（80代・女性）

○市民連合ができて良かった。今後に期待したい。（60代・男性）

○憲法9条を守るために、もっとがんばらないといけないね。（60代・女性）

「こわしてはいけなく無言館をうたう」 平和音楽会参加者の感想より

うたごえサークル「びびむし」が9月に駒ヶ根市内で平和音楽会を開催し1000人の聴衆を魅了。参加者から寄せられた感想の一部を紹介いたします。

○窪島さんのお話を初めてお聞きしました。本当に感動しました。来てよかったです。伊藤聡さん自作のマリンバの曲がとてもよかったです！窪島さんのことばがひびひしと



「こわしてはいけなく」楽譜

伝わる曲と合唱ですばらしかったです。

○私は戦争を知らないけれど、人をいとおしいと思う心はわかります。(中略)一枚の絵に思いを残しながら征か

市議の窓

松くい虫対策等に200億円の基金の一部活用を

柳川ひろみ

22日、投票日の夕方から台風の影響で天竜川・三峰川が増水し、高遠長藤には避難準備情報が出ました。

夕方、高遠ダムで300t/秒の様子を見に行きました。近年にない増水でした。天竜川も辰野で水防団待機水位を超えていました。長野県河川砂防情報ステーションを見て天竜川の水位・市内の雨量情報・天気予報などを

見て就寝。

翌朝、天竜川・三峰川や、松くい虫被害の松の倒木があった東部中付近と六道原工業団地付近の道路等も視察。市役所へ出向き「道路沿いや都市公園の松くい虫対策の補正予算を確実に付けて欲しい。台風の度に通行止めになるのは困る。市の基金約200億円を有効活用するべき」と要請しました。

なければならなかった戦争。若者を征かしてはならないと強く思いました。

○すばらしい演奏と歌声、心の底から感動しました。窪島さんの心打つお話と、コーラスが響きあってあふれるようなおもいが伝わってきました。私たち日本人の生きる目安、日本国憲法。憲法九条。変えることなく、こわすことなく世界中の人々に伝えていくことが、私たち日本人の仕事。(後略)



上田市塩田平、独鈷山(とっこさん)の麓にたつ無言館

画学生が遺した絵



上伊那の米価闘争

境 有賀光良

7

広がる出荷期のたたかい

一九六五年七月九日、佐藤栄作内閣は 農協米対の要求や自民党のいわゆる農林議員たちの要求よりさらに低い、一石1万6375円とすることを閣議決定しました。この低米価の決定は全国の農民の怒りを買いました。長野県のお米を守る県民会議は七月十五日に「低米価抗議集会」を開きました。集会では、政府の低米価決定にあくまで抗議し、要求を貫徹するために

*米の本予約を九月十九日まで延期する。
*冬場米の出荷は第一期限まで延期する。

などを決め、この集会を契機に第二次米価闘争に突入しました。上伊那では、ほとんどの町村で「低米価決定抗議集会」が開かれ、いずれの集会でも出荷拒否が決められました。予約拒否、出荷拒否はいわば全国規模で行う農民のストライキでした。また、長野県評の定期大会、第八回長野県母親大会、県連青常任理事会など労組や民主団体をはじめ、日本共産党長野県委員会、日本社会党長野県本部も農民の出荷拒否の闘いを支援する決議を行いました。全農林長野県本部(農水省職員などの労組)は、九月末の早場米出荷集中期に超過勤務拒否、農協従連は定時出退所を決めて農民のたたかいはげましました。

【長野県評】長野県労働組合評議会の略、戦後、紆余曲折を繰り返していた長野県内の労働運動は、1950年に総評(日本労働組合総評議会)が結成された後、1953年4月、15単産、3万人が結集して同年7月に結成され、1989年まで続いた。

【県連青】長野県連合青年団の略、社会教育の一環としての青年団活動の連合体。伊那市には伊那市連合青年団(伊那市連青)があつて、原水爆禁止運動、山の平和祭、地域行事など多彩な活動に取り組んできました。会員の減少等により解散した。

随想

地域の問題に目を — 入党50年に思うこと

東春近 石原 元文 (70)

長野県の飯田で高校卒業を迎えた頃は、「あした、どうやって暮らしていこうか」を求めている時代でした。できるだけ人の前に立ちたくない性格の私は、田舎の人間関係がいやで東京に出ました。

入った職場は、連合の初代会長・山岸氏の出身母体でした。労働組合の役員を2年位やった後、日本共産党に入りました。*4・17問題で、職場には、暗い雰囲気、また、ソ連・中国の覇権主義の問題で論争もあって、論文を読むのがおもしろい時代でした。職場支部なので、職場の問題をよく話し合っていました。

今は、地域の支部で、地域の問題があまり話されていません。例えば「オール上伊那」の組織が、定期的に会議を開き、目標に向かってみんなが力を合わせるようにすることが大切ですね。

東京から越えてきて3年、バドミントンのコーチで体を鍛えながら、党と地域の前進のために力を尽くしたいと思っています。(談)

※4・17問題

1964年の春闘方針で、公労協は、4月17日の半日ゼネスト方針を決めたが、共産党が「組合内分裂主義者による挑発のおいがある」として、スト中止を訴えた。後に「誤りであった」と自己批判をした。

風物詩

新そば祭り



そば王国信州の秋は、各地の新そば祭りできがわう。写真は、みはらしファームの祭り。お客さんが、名人の打つそばを待っている。



アベ政治を許さない・戦争法廃止 3日と19日行動を継続

10月3日午後には「アベ政治を許さない」行動日。ベルシャイン伊那店前には竜東や東春近の九条の会員12名が。手良の会員8人は中坪交差点に立ちました。19日は、戦争法廃止などで竜東橋北交差点で宣伝しました

共謀罪法の廃止呼びかけに激励

10月も10日午前7時半から平成大橋交差点で共産党や平和団体の会員らが「共謀罪NO!」などの看板を掲げて市民にアピール。「竜東橋の十字路で雨が降る中、立っていたね。戦争をさせない行動が大事だ」(50代女性)などの激励がありました。

催し案内

☆満蒙開拓記念館など訪問

11月12日(日) 午前8時30分
高遠町文化センター発

参加費：4000円
主催：高遠町9条の会
連絡先：大場・鈴木・石川

☆曾我逸郎応援団 報告・交歓会

11月12日(日) 午後4時～ 中川村望岳荘
会費 4000円程度 宿泊 7560円
連絡先：若林 (090-4094-2870) 11月5日〆切

☆アベ政治を許さない行動

11月3日(金) 午後1時～
ベルシャイン前・手良中坪交差点
主催：九条の会など

☆共謀罪法廃止行動

11月10日(金) 午前7時半～8時
平成大橋たもと 共産党が呼びかけ

☆戦争法廃止行動

11月20日(月) 午前7時15分～
竜東橋北交差点・三峰川橋たもと
主催：九条の会など

☆「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場 (さよなら原発上伊那の会)